

令和7年中における市内の火災、救急及び119番通報の確定値について ～火災は増加、救急及び119番通報は過去最多を更新～

令和7年中における市内の火災、救急及び119番通報の確定値について、次のとおりお知らせします。

1 各種件数一覧

種別	令和7年(件)	令和6年(件)	増減(件)	増減率(%)
火災	192	153	39	25.5
救急出場	45,194	44,339	855	1.9
119番通報等	62,826	62,083	743	1.2

2 火災の概要

火災件数は192件(前年比39件増)、死者は8人(前年比4人増)、負傷者は、33人(前年比1人増)、損害額は520,983千円(前年比207,114千円増)です。

出火原因は「電気機器」28件(そのうち「リチウムイオン電池」の火災が20件)が最も多く、「たばこ」25件、「放火(疑い含む)」17件となっています。詳細については、別紙「令和7年中における火災の概要(確定値)」のとおりです。

3 救急の概要

救急出場件数は、45,194件(前年比855件増)、搬送人員は、38,363人(前年比1,118人増)で、共に**過去最多を更新**しました。

救急出場の事故種別では、「急病」が最も多く、「一般負傷」、「転院搬送」、「交通事故」と続いています。

軽症者の搬送人員は、19,404人で、全体の搬送人員の50.6%となっています。

65歳以上の高齢者の搬送人員は、22,368人で、全体の搬送人員の58.3%となっています。詳細については、別紙「令和7年中における救急の概要(確定値)」のとおりです。

4 119番通報等の概要

119番通報等の件数は62,826件(前年比743件増)です。1日平均で172件、8分22秒に1回の119番通報等を受信し、**過去最多を更新**しました。

問い合わせ先

消防局 消防部予防課(火災関係)

042-751-9117

警防部救急課(救急関係)

042-751-9142

警防部指令課(119番通報関係)

042-751-9123

令和7年中における火災の概要(確定値)

市内で192件の火災が発生しました。
火災による死者は8人で負傷者は33人でした。

1 火災の発生状況

(1) 火災件数は前年と比べ39件増加

令和7年中の火災件数は192件で、前年と比べ39件増加しています。

火災種別ごとに見ると、前年と比べ建物火災は115件で22件増加、林野火災は2件で変動なし、車両火災は17件で1件減少、その他の火災は58件で18件増加となりました。

(2) 出火原因の第1位は「電気機器」、続いて「たばこ」、「放火（「放火の疑い」を含み、以下同じ。）」

全火災の出火原因順位としては、「電気機器」の28件(14.6%)が最も多く、「たばこ」25件(13.0%)、「放火」17件(8.9%)、「火あそび」12件(6.3%)、「こんろ」10件(5.2%)と続いています。

「電気機器」のうち、20件がリチウムイオン電池の火災です。

(3) 火災による死者は8人、前年と比べ4人増加

火災による死者は8人、前年と比べ4人増加しています。

火災種別ごとに見ると、建物火災により亡くなりました。

負傷者は33人、前年と比べ1人増加しています。

(4) 建物焼損棟数、焼損面積及び損害額は前年と比べ増加

焼損棟数は160棟、前年と比べ32棟増加しています。

建物の焼損面積は4,179㎡、前年と比べ1,117㎡増加しています。

損害額は5億2,098万3千円となっており、前年と比べ2億711万4千円増加しています。

2 火災概況(前年比)

項 目		令和7年	令和6年	増 減	
合 計 (件数)		192	153	39	
火災種別	建物	件 数	115	93	22
		面積(m ²)	4,179	3,062	1,117
	林野	件 数	2	2	0
		面積(a)	3	6	▲3
	車 両	17	18	▲1	
	船 舶	0	0	0	
	航 空 機	0	0	0	
	その他	件 数	58	40	18
面積(m ²)		37,754	12,281	25,473	
原因別	失 火(構成比)	153 (79.7%)	133 (86.9%)	20	
	放火(疑い含む。)(構成比)	17 (8.9%)	8 (5.2%)	9	
	不 明(構成比)	22 (11.5%)	12 (7.8%)	10	
焼 損 棟 数		160	128	32	
り 災 世 帯		129	88	41	
り 災 人 員		284	179	105	
死 者		8	4	4	
負 傷 者		33	32	1	
損 害 額 (千円)		520,983	313,869	207,114	

* 小数点第2位を四捨五入

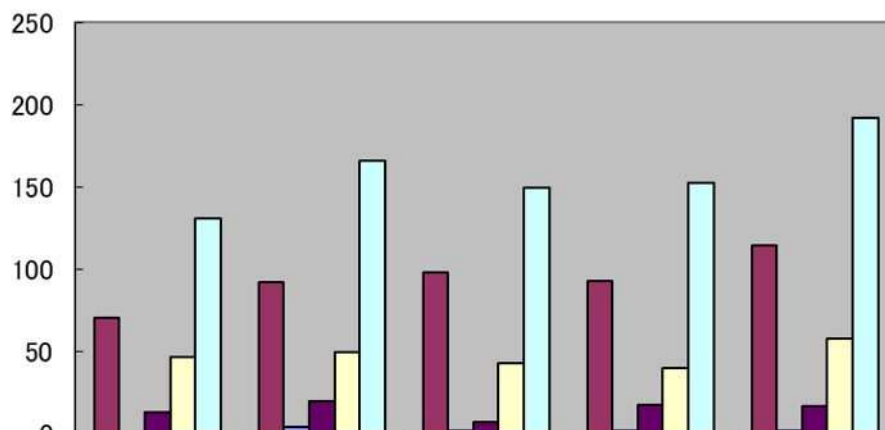
3 出火原因(前年比)

令 和 7 年 192 件			令 和 6 年 153 件		
順位	出 火 原 因	件 数	順位	出 火 原 因	件 数
1	電 気 機 器	28 (14.6%)	1	こ ん ろ	19 (12.4%)
2	た ば こ	25 (13.0%)	2	電 気 機 器	15 (9.8%)
3	放 火	17 (8.9%)	3	た ば こ	14 (9.2%)
4	火 あ そ び	12 (6.3%)	4	放 火	8 (5.2%)
5	こ ん ろ	10 (5.2%)	5	ス ト ー ブ	7 (4.6%)
上位5位の合計		92 (47.9%)	上位5位の合計		63 (41.2%)

* 小数点第2位を四捨五入

過去5年間の火災件数

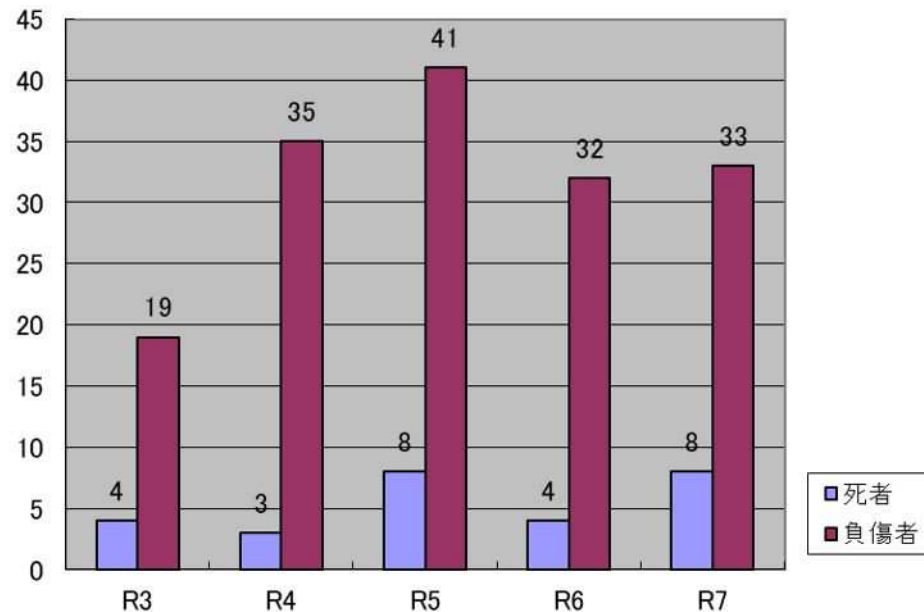
(件)



	R3	R4	R5	R6	R7
■建物	71	92	98	93	115
■林野	0	4	2	2	2
■車両	13	20	7	18	17
□その他	47	50	43	40	58
□合計	131	166	150	153	192

過去5年間の火災に伴う死傷者数

(人)



令和7年中における救急の概要(確定値)

救急出場件数は45,194件、搬送人員は38,363人で、ともに**過去最多**を更新しました。

1 救急業務の実施状況

(1) 救急出場件数は前年と比べ855件増加し過去最多を更新

令和7年の救急出場件数は45,194件、搬送人員は38,363人で、前年と比べ救急出場件数は855件、搬送人員は1,118人増加し、過去最多となりました。

(2) 救急出場の事故種別の第1位は「急病」、続いて「一般負傷」、「転院搬送」

救急出場の事故種別順位としては、「急病」の30,841件(68.2%)が最も多く、「一般負傷」6,563件(14.5%)、「転院搬送」3,224件(7.1%)、「交通事故」2,304件(5.1%)と続いています。

(3) 軽症者の搬送割合は前年と比べ0.2ポイント減

軽症者の搬送人員は、19,404人(前年比482人増)で、全体の搬送人員の50.6%(前年比0.2ポイント減)となっています。

(4) 65歳以上の高齢者の搬送割合は前年と比べ0.5ポイント減

65歳以上の高齢者の搬送人員は、22,368人(前年比562人増)で、全体の搬送人員の58.3%(前年比0.2ポイント減)となっています。

2 救急概要

事故種別 区分		令和7年 (A)	令和6年 (B)	増減(C) (A-B)	増減率 (C/B×100)	
救急出場件数		45,194	44,339	855	1.9%	
傷病者搬送件数		38,197	37,104	1,093	2.9%	
不搬送件数		6,997	7,235	△238	△9.5%	
事故種別 内訳	火災	131 (0.3%)	126 (0.3%)	5	4.0%	
	自然災害	0 (0.0%)	7 (0.0%)	△7	—	
	水難	5 (0.0%)	6 (0.0%)	△1	△16.7%	
	交通	2,304 (5.1%)	2,322 (5.2%)	△18	△0.8%	
	労働災害	282 (0.6%)	314 (0.7%)	△32	△10.2%	
	運動競技	234 (0.5%)	244 (0.6%)	△10	△4.1%	
	一般負傷	6,563 (14.5%)	6,279 (14.2%)	284	4.5%	
	加害	172 (0.4%)	179 (0.4%)	△7	△3.9%	
	自損行為	422 (0.9%)	443 (1.0%)	△21	△4.7%	
	急病	30,841 (68.2%)	30,329 (68.4%)	512	1.7%	
	その他	転院搬送	3,224 (7.1%)	3,054 (6.9%)	170	5.6%
		医師搬送	8 (0.0%)	12 (0.0%)	△4	△33.3%
		資材搬送	1 (0.0%)	3 (0.0%)	△2	△66.7%
その他		1,007 (2.2%)	1,021 (2.3%)	△14	△1.4%	
搬送人員		38,363	37,245	1,118	3.0%	
性別	男性	19,635	19,392	243	1.3%	
	女性	18,728	17,853	875	4.9%	
程度別	死亡	185 (0.5%)	283 (0.8%)	△98	△34.6%	
	重症	3,060 (8.0%)	2,839 (7.6%)	221	7.8%	
	中等症	15,713 (41.0%)	15,201 (40.8%)	512	3.4%	
	軽症	19,404 (50.6%)	18,922 (50.8%)	482	2.5%	
	その他	1 (0.0%)	0 (0.0%)	1	—	

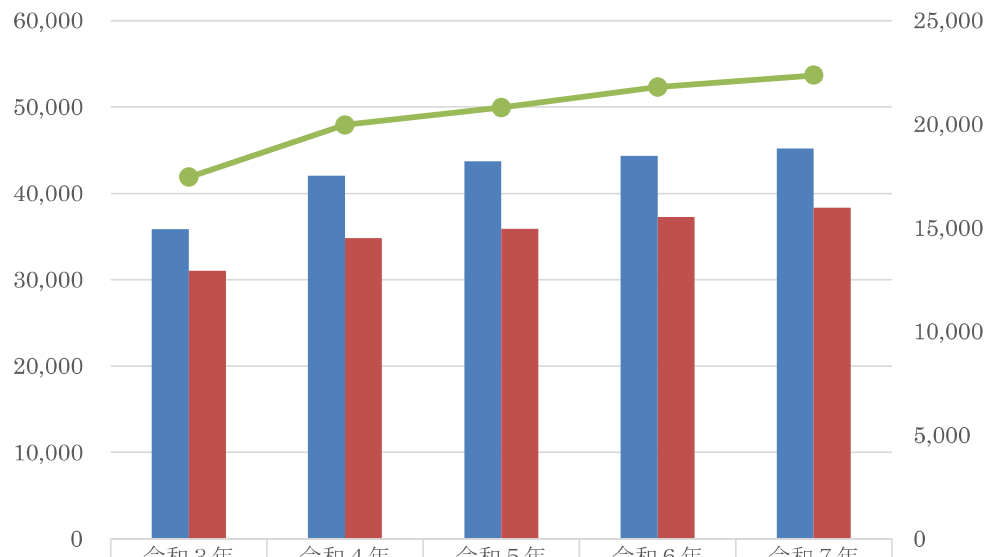
* 事故種別内訳の括弧内は救急出場件数における構成比

* 程度別の括弧内は搬送人員における構成比

* 増減率と割合については小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、構成比の合計は100%にならない場合がある。

過去5年間救急出場件数及び搬送人員の推移



■ 救急件数 (件)	35,847	42,060	43,696	44,339	45,194
■ 搬送人員 (人)	31,029	34,826	35,890	37,245	38,363
● 満65歳以上搬送人員 (人)	17,457	19,971	20,808	21,806	22,368

3 事故種別搬送人員状況

事故種別 順位	令和7年		令和6年		対前年比	
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
1 急病	26,225	68.4%	25,488	67.8%	737	2.9%
2 一般負傷	5,824	15.2%	5,549	15.2%	275	5.0%
3 転院搬送	3,196	8.3%	3,030	8.0%	166	5.5%
4 交通	2,156	5.6%	2,137	6.4%	19	0.9%
5 自損行為	306	0.8%	317	0.8%	△11	△3.5%
6 労働災害	272	0.7%	301	0.8%	△29	△9.6%
7 運動競技	233	0.6%	237	0.6%	△4	1.7%
8 加害	118	0.3%	142	0.3%	△24	16.9%
9 火災	28	0.1%	32	0.1%	△4	△12.5%
10 その他	3	0.0%	3	0.0%	0	0.0%
11 水難	2	0.0%	2	0.0%	0	0.0%
12 自然災害	0	0.0%	7	0.0%	△7	△100.0%
計	38,363	100.0%	35,890	100.0%	1,118	3.0%

* 構成比と増減率については、小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理(四捨五入)のため、構成比の合計は100%にならない場合がある。

4 年齢別搬送人員

年齢区分	令和7年		令和6年		対前年比	
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
新生児	100	0.3%	106	0.3%	△6	△5.7%
乳幼児	1,756	4.6%	1,757	4.7%	△1	△0.1%
少年	1,439	3.8%	1,408	3.8%	31	2.2%
成人	12,700	33.1%	12,168	32.7%	532	4.4%
高齢者(65歳以上)	22,368	58.3%	21,806	58.5%	562	2.6%
計	38,363	100.0%	37,245	100.0%	1,118	3.0%

* 構成比と増減率については、小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理(四捨五入)のため、構成比の合計は100%にならない場合がある。